

久寺家中学校区 小中一貫教育グランドデザイン

目指す 15歳の姿

中学校区の実態

- 郷土への関心が薄い。
- 基本的な学力のある児童・生徒が多い。
チャレンジ力やたくましさには欠ける。
- 心が優しい児童・生徒が多く、穏やか。

重点

- 郷土愛を育む。
- 新しいことに進んで取り組む。
- 発信力の育成。

郷土（ふるさと）を愛し、
21世紀をたくましく生きる
豊かな心と確かな学力を持った子

我孫子市小中一貫教育の目指す子ども像

- ふるさと我孫子を愛し、誇りに思う子ども（郷土愛）
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども（未来を拓く力）
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども（豊かな心）

保護者・地域の願い

- 自分や相手に優しい人であって欲しい。
- たくまさを身につけ、どんなことにもチャレンジする人になって欲しい。

並木小学校教育目標

心やさしく かしこく たくましく

久寺家中学校教育目標

社会で生きる
たくましい力と豊かな心をもった生徒

根戸小学校教育目標

よく遊び よく学び 思いやりのある子

環境でつなぐ

【生活のきまり】

中区で「生活のきまり」を共有し、発達段階に応じたきまりを作成する。

【学習のきまり】

中区で「学習のきまり」を共有し、発達段階に応じたきまりを作成する。

学習でつなぐ

【キャリア教育】

初期では町探検、前期では校外学習、中期では職業人の話を聴く会、後期では職場体験学習を実施する。

【ふるさと教育】

「ふるさと我孫子の先人たち」について学習する。中期では「井上二郎」「岡田武松」「飯泉喜雄」「嘉納治五郎」「血脇守乃助」「田口静」を学習する。後期は「松岡鼎」「杉村楚人冠」「中野治房」「志賀直哉」「柳宗悦」「村川堅固」を学習する。

人でつなぐ

【児童生徒の交流】

毎年1月の最終木曜日を「小中一貫の日」と設定し、生徒会主体の会を開いたり、学習・部活動の体験をしたりする。

特別支援3校合同交流会を実施し、一緒にゲームをしたり、音楽を奏でたりする。

【職員の交流】

3校合同の教育ミニ集会、不祥事根絶研修会を実施する。

小中一貫教育推進協議会

校長・教頭
教務主任・研究主任・生徒指導主任
特別支援コーディネーター

地域・保護者との連携

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）
PTA
地域学校協働本部

教務チーム

- ①目指す児童・生徒像の共有
- ②学びの系統性カリキュラムの作成・実施
- ③教育ミニ集会の実施

研究チーム

- ①学力、体力の向上
- ②研究、研修、授業の交流と参観
- ③小中一貫の日の企画運営

生徒指導チーム

- ①いじめ防止対策
- ②指導項目・内容の共通理解
- ③不祥事根絶研修会の実施

特別支援チーム

- ①個別の支援計画の引き継ぎ
- ②合同交流会の充実